



国際ロータリー2590地区
川崎麻生
ロータリークラブ
KAWASAKI ASAO ROTARY CLUB

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

■会長 山崎 弘子 ■幹事 鈴木 豊成



大矢 紀

第 963 回 例会記録 平成 24 年 5 月 25 日 (金) S. A. A 委員長 梶 俊夫

【点 鐘】

【例会場】

【ソング】

四つのテスト

山崎会長
百合ヶ丘カントリー倶楽部
親松 SAA 委員

【ゲスト・ビジター】

なし

山崎会長

【会長報告】

山崎会長

1. R 財団学友会賛助金送金ご依頼の件が届いています。
12,000 円 (2008-09 年度松重 和歌子さん分)
2. クラブ純増 1 名以上の目標達成に向け ラストスパ
ートを！が届いています。
3. 2012 年 6 月より、ロータリーレート変更について
1 \$ = 80 円

【幹事報告】

鈴木豊成幹事

1. 会報の受領

・川崎 RC 第 2993 回～第 3001 回

6 月の最終例会には、長戸ガバナー補佐と次年度ガバナー補佐
三家氏がお見えになります。

【出席委員会】

尾作弘委員長

例会数	会員	出席	欠席	メイク	出席率
第 963 回	20	13	7	-	65%
第 962 回	20	16	4	-	80%
第 961 回	20	14	6	1	75%

【ニコニコ委員会】

親松委員

	第 963 回 (件数)	合 計
ニコニコ	11 件	¥11,000

●当クラブ

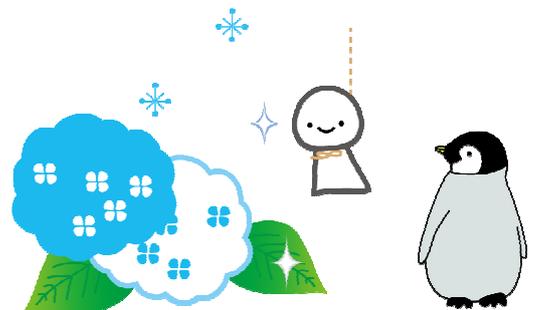
- ◇山崎会長【残り 1 ヶ月です。ホットしています】
 - ◇鈴木豊成幹事【残り 1 ヶ月頑張ります】
 - ◇大野会員【第 4 コーナーを過ぎましたね。会長、幹事】
 - ◇安藤優会員◇碓井会員◇梅澤会員◇尾作弘会員
 - ◇鈴木憲治会員◇鈴木憲治会員◇平澤会員◇蓬田会員
 - ◇親松会員【おーいお茶】
- 以上、ご協力ありがとうございます。

【プログラム委員会】

蓬田委員長

- 6/ 8 (金) → 招聘卓話「元 J リーガー 星 大輔氏」
- 6/15 (金) → 17 (日) ～ 18 日 (月) 会長幹事ご苦勞様会
- 6/22 (金) → 休会
- 6/29 (金) → 最終例会

※ 6 月の例会場は、全てホテルモリノとなります。



第 964 回例会 6 月 1 日 (金) 新旧理事役員会⑬ 会長の日 (1 年を振り返って) 場所: ホテルモリノ

第 965 回例会 6 月 8 日 (金) 招聘卓話「元 J リーガー 星 大輔氏」 場所: ホテルモリノ

[例会日] 第 1・2 金曜日 12:30～13:30 [例会場] ホテルモリノ 新百合丘 7F TEL: 044-966-1300

[例会日] 第 3・4 金曜日 12:30～13:30 [例会場] 百合ヶ丘カントリー倶楽部 2F TEL: 044-966-1300

次年度5大奉仕委員会委員長方針発表

【クラブ奉仕委員会】

鈴木眞一委員長

●方針

クラブ奉仕はクラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動である。

(手続き要覧より)

クラブ奉仕部門の各委員長との報連相を密にし、充実した活動内容になるよう推進する

2012-13年度は20名の会員でスタートします。

会員は家族同様と考え、家族の絆を強め一致団結して奉仕活動を行えるよう努力する。



●実施計画

【I】退会防止はもちろん、増強に努力する

- ①楽しい例会、次回も出席したくなる例会を目指す
- ②地域のいろいろなイベントに積極的に参加する
- ③川崎麻生ロータリークラブの知名度を上げる
(街頭清掃、献血運動、震災募金運動 etc)
- ④会員や家族の親睦を図る

【II】五人組を復活する

- ①今年度は 20 名を 5 グループに分け、四人組とする
(別紙 『四人組組織図』)
- ②グループリーダーはクラブ奉仕委員会の各委員長とする
- ③グループリーダーを中心に炉辺を実施する
(例会時間内あるいは必要に応じ臨機応変に)
- ④炉辺で【I】を議題にアイデアを出し合う
- ⑤四人組を例会出欠確認の連絡網とする
- ⑥四人組が五人組になるよう前向きに取り組む

【職業奉仕委員会】

親松委員長

●方針

職業奉仕とは自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てることであるとされています。会員一同で実行に努力致します。

●実施計画

①会員の職業に関する卓話を取り入れる。

- ②職場訪問を実践し、移動例会にする。
- ③職業奉仕月間に卓話をお願いする。
- ④毎例会「四つのテスト」を唱和する。

職場訪問は静岡にある、食品工場を検討中です。



【社会奉仕委員会】

佐藤委員長

●活動

ロータリーが目指す社会奉仕とは、ロータリアン一人一人の個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することである。

この奉仕の理想を実行するには、多彩な社会奉仕活動を見出し、多くの会員による奉仕活動の機会をつくり参加することである。

この社会奉仕活動への参加には、クラブが所在する地域社会、そして居住する人々の生活、社会環境に博愛の手を広め進んで公共のために奉仕することである。

●実施計画

1. 社会奉仕は、ロータリアン一人一人が「超私の奉仕」を実践できる機会であることを認識し行動するようにします。
2. 地域社会における奉仕活動の機会を調べ、地域社会のニーズを見当めます。
3. 社会奉仕活動を実施するに当たり会員の得意とする職業上の能力や趣きを活かすようにします。
4. 社会奉仕の目標を達成するために、他の団体と連携し機会を開き、話し合いと情報の交換をします。
5. 当クラブの得意とする「麻生川美化運動ポスター」展示に地域の小学校に参加を促し、各校の生徒に美化ポスター(約180枚)を描いて頂き、桜の咲く麻生川の堰堤にそれ等を掲示し、区民の皆様が桜見物と同時にポスターも見られるよう実施します。



【新世代奉仕委員会】

梅澤委員長

●方針

各ロータリアンの責務は年齢30歳までの若い人全てを新世代に将来への準備をさせる。

その為には、健康、人間の価値・教育・自己開発の基本的ニーズを支援する。

●実施計画

年齢30歳までの多数の青少年が将来リーダーとなるために、ロータリーのプログラムに参加して地域のプロジェクトや指導力開発の研修、文化交流などに参加していただく。



【四つのテスト】

碓井会員

【点鐘】

山崎会長

【会報委員会】

文責 平澤